

# ～ 留萌地域で活かす情報通信セミナー ～

## 開催要領

### 情報伝達の現状と新たな動きを見据えて

東日本大震災後、道内各地域で、防災マップや津波警戒地域の見直しなど、防災に役立つ多くのツールや技法が情報伝達手段を含めて研究されています。

最近の情報伝達手段として「クラウド」や「Wi-Fi」を活用した「ツイッター」や「フェイスブック」などの新たな技法が一般に普及し、利用者数は急カーブで増加しています。これらの新たな情報伝達手段は、情報を作成する側も利用する側も専門とするシステムや大型のサーバを必要としないもので、公開されているサーバ(クラウド)を利用してインターネット経由で情報交換する仕組みです。

留萌管内でも、新たな情報伝達に取り組んでいる事例があります。新たな情報伝達は防災だけではなく、観光などの既存の地域情報と連動して、地域振興の一助になる可能性があります。

今回、新たな情報伝達の現状を知見し、地域でどのような活用が可能かを探るものとして、「留萌地域で活かす情報通信セミナー」を設定しました。事前申込は必要ありません。

開催日時 平成25年3月22日09時30分

場 所 北海道留萌振興局 講堂 (留萌市住之江町2丁目2番地2)

主 催 初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会

後 援 北海道開発局留萌開発建設部 北海道留萌振興局 初山別村

次 第

開会挨拶 長南 史男 (山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会 会長)

基調講演 「Wi-Fiの活用事例と情報伝達」

細野 昌和 北海商科大学 商学部 教授

基調講演 「クラウド活用で地域の未来を拓く」

赤羽 幸雄 札幌学院大学 経営学部 特任教授 北海道ITコーディネーター協議会 会長  
札幌市 SaaS・クラウドビジネス研究会 世話人

研究・事例「初山別村・暮らしを支えるネットワーク」

大水 秀之 初山別村 総務課 課長

総合討論 「留萌地域で活かす情報通信」

コーディネーター 水島 俊一 ((財)北農会 常務理事)

コメンテーター 講演講師各位 (細野教授、赤羽教授、大水課長)

志田 雅章 ((株)恵和 執行役員システム事業本部長)

(セミナー事務局) 初山別村暮らしを支えるネットワーク研究会

会 長 長南 史男 (北海道大学大学院農学研究院 教授)

副会長 黒澤 不二男 ((一社)北海道地域農業研究所 特別参与)

事務局長 折登 一隆 (NPO 法人グリーンテクノバンク 事務局長)

初山別村、日本気象協会北海道支社、(株)レガシィ

司会進行 田中 進 (日本気象協会北海道支社)